

東北・北海道ブロック FID バasketボール交歓大会 ～第2回ひまわりカップ～【報告書】

福島県 FID バasketボール連盟

1 日程

場所：福島県営あづま総合体育館

11月16日 土曜日	
9:00～	受付
10:15～	代表者会議
10:45～	第1試合
※10-2-10のハーフゲームで実施。	
※総当たり戦で実施した。	
17:40	試合終了

11月17日 日曜日	
8:50～	クリニック
A・Bコート	
全日本 HC による強化クリニック	
※各チーム推薦選手	
Cコート	
FID 福島によるエンジョイクリニック	
11:40	クリニック終了
12:00	全日程終了・解散

参加者：参加チーム … 男子6チーム・女子5チーム(約130名)
 運営・ボランティア等 … 約70名 総数 約200名

2 試合結果

【男子結果】

	秋田県	岩手県	新潟 ライジングサンズ	横浜 メイジャーズ	FID長野	FID福島	戦績	順位
秋田県		○ 34-18	○ 47-29	× 33-54	○ 49-15	○ 63-17	4勝1敗	2
岩手県	× 18-34		× 10-48	△ 31-31	× 18-32	○ 29-22	1勝3敗1分	5
新潟 ライジングサンズ	× 29-47	○ 48-10		× 26-52	× 30-33	○ 53-32	2勝3敗	4
横浜メイジャーズ	○ 54-33	△ 31-31	○ 52-26		○ 36-27	○ 58-9	4勝1分	1
FID長野	× 15-49	○ 32-18	○ 33-30	× 27-36		△ 34-34	2勝2敗1分	3
FID福島	× 17-63	× 22-29	× 32-53	× 9-58	△ 34-34		4敗1分	6



【女子結果】

	秋田県	岩手県	つばきクラブN	つばきクラブB	FID福島	戦績	順位
秋田県		○ 43-14	× 25-29	× 20-35	○ 34-14	2勝2敗	3
岩手県	× 14-43		× 14-27	× 6-47	× 15-34	4敗	5
つばきクラブN	○ 29-25	○ 27-14		○ 37-33	○ 44-15	4勝	1
つばきクラブB	○ 35-20	○ 47-6	× 33-37		○ 40-6	3勝1敗	2
FID福島	× 14-34	○ 34-15	× 15-44	× 6-40		1勝3敗	4



3 クリニックメニュー

【全日本 HC による強化クリニック】

- 9:00 ウォーミングアップ
- 9:30 対面シュート
- 9:45 ボールミート→ドライブ
- 10:15 ドリブルドリル
- 10:40 シチュエーションシューティング
- 11:10 オールコート1対1
- 11:30 シュートドリル
- 11:40 終了

【FID 福島によるエンジョイクリニック】

- 9:00 ウォーミングアップ
- 9:30 ゲーム
- 11:05 追い抜きフリースロー
- 11:30 ダウン
- 11:40 終了



4 成果・今後の検討事項（一部各チームへのアンケート結果より）

(1) 大会の趣旨、日時、場所について

- ・日程としては他の大会と被らず、良い時期。
→福島県内の行事との兼ね合いも考慮した上で、来年度の施設利用申請を行う。

(2) リーグ戦について

- ・10分ー2分ー10分のハーフゲームで実施した。おおむね予定通りに運営することができた。
- ・過密スケジュールで試合が連続になっているところも多く、足をつる選手が数名出たが、普段足をつるまでやらない選手については良い経験だったかもしれない。参加チーム数と限られた時間の中でのスケジューリングはとても難しいと思うので、そこは各チームのベンチワークでカバーできたらと思う。
- ・全てのチームと対戦できたのは良かった。

(3) クリニックについて

- ・他のチームの選手と行うことで刺激になり、選手同士の交流にも繋がる。
- ・選手同士の会話も弾んでいたようで、有意義な機会だったと思う。
- ・エンジョイクリニックはハンドリングなど、基礎的な内容が入っていて良かった。(床に寝そべてボールを真上に上げてキャッチする等)

(4) その他（来年度に向けた意見など）

- ・開閉会式の省略(代表者会議で開会とした)、集合写真の撮影が良かった。
- ・ボランティアで鍼灸整骨院の方、看護師の方にもご協力いただいた。捻挫や体調不良等の対応をしていただいた。今後も継続してほしい。
- ・オノヤスポーツ様に出店していただいた。会場に出店しているスポーツ店の利用をしたことがなく、近寄ってもいいのか迷っている選手もいた。事前に各チームへの紹介など行うと、スムーズに利用でき、より大会を楽しめるのではないかと。
- ・エンジョイクリニックの方は初めての集団に入ることが難しい選手でもゲームになると参加できたので、ゲームをする機会を来年度も入れてほしい。逆に強化クリニックの方はゲームが無かったからか、他チームの選手との交流という意味では少し物足りなかったかもしれない。



【後援】 一般社団法人日本F I Dバスケットボール連盟
NPO法人チームふくしま（福島ひまわり里親プロジェクト）
福島県精神障がい者バスケットボールクラブ 福島民報社 福島民友新聞社
まこと鍼灸整骨院 バイオレイラ 福島ファイヤーボンズ

【協賛】 スーパースポーツゼビオ福島矢野目店・新潟亀田店 守工業株式会社 採用と教育研究所

【協力】 福島市立信陵中学校バスケットボール部 市内高校バスケットボール部 遊籠倶楽部
特定非営利活動法人 SWELL・IN・FUKUSHIMA つぼみ オノヤスポーツ
県内F I Dバスケットボールチーム



みなさまの多大なるご支援・ご声援を賜り
心から感謝申し上げます。

